



研究・開発の進展等に鑑み、事業の選択と集中を推進

バイオ・ヘルスケア&メディカルインフォマティクス事業を取り巻く事業環境

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、健康への関心が高まっており、SBIグループでは5-ALA配合の新たな機能性表示食品の開発を加速させています。また医療統計データ等の精度の低さが露呈し、医療情報のデジタル化やビッグデータの活用等も求められている中、メディカルインフォマティクス分野を今後の事業展開の新機軸の一つに位置づけています。

主要企業

SBI ALApharma
SBIバイオテック
Quark Pharmaceuticals(クォーク社)
SBIファーマ
SBIアラプロモ
photonamic(フォトナミック社)
NX Development
SBI ALApharma Canada
Photonics Healthcare
メディカル・データ・ビジョン

バイオ・ヘルスケア&メディカルインフォマティクス事業の 連結税引前利益(IFRS)

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期
SBIバイオテック	16	△ 278
クォーク社	△ 7,668	△ 4,234
5-ALA関連		
SBIファーマ	△ 1,272	△ 1,726
SBIアラプロモ	193	348
フォトナミック社	173	71
メディカル・データ・ビジョン (持分法適用)		36

2021年3月期の主な取組み・重点戦略

- メディカル・データ・ビジョン(株)を持分法適用会社としたことを機に、2021年3月期第3四半期より、セグメント名称を「バイオ関連事業」から「バイオ・ヘルスケア&メディカルインフォマティクス事業」へと変更

➤ SBIバイオテック

- 導出済みパイプラインの開発が順調に進展しており、2016年に協和キリン(株)に導出した「SBI-9674」においてはマイルストーンを達成

➤ クォーク社

- 事業撤退を決定
- 新たな開発を凍結し、事業規模を必要最小限とすべく人員削減を含めた費用削減を強力に推進
- 株式売却を優先して複数の候補先と交渉を開始。同社が保有する知的財産権等の売却についても並行して進めている

➤ 5-ALA関連事業

- SBIファーマは、ミトコンドリア病治療薬のフェーズⅢが2021年4月に終了
- SBIファーマとフォトナミック社は、新型コロナウイルス感染症患者に対する5-アミノレブリン酸リン酸塩等を使用したアイルランド王立外科医学院パーレーン医科大学での共同試験や(医) 荘和会 半蔵門胃腸クリニックでの症例研究に協力
- SBIアラプロモはコロナ禍での健康志向の高まりを受け、5-ALA関連製品の販売が急増

➤ メディカル・データ・ビジョン

- 2020年11月、同社を持分法適用会社とし、メディカルインフォマティクス分野に参入

5-ALA配合の商品紹介

医療用医薬品



アラグロ®
顆粒剤分包1.5g

健康食品・化粧品等



アラプラス
ゴールドEX



アラプラス
糖ダウン



アラプラス
深い眠り



アラプラス
からだアクティブ



アラプラス
からだシェイプ



アラプラス
スキンケアシリーズ

※ 2021年6月末時点の販売商品